

ひゃくさい

2014年(平成26年)11月発行 No.70

福岡県高齢者福祉生活協同組合

〒812-0025 福岡市博多区店屋町3-23

サカタビル2F

TEL(092)282-1431 FAX(092)282-1433

発行責任者:理事長 宮田 育郎

編集責任者:広報委員会

Email : ikiiki00@mba.sphere.ne.jp

ふくし生協

検索



嘉飯事業所

〒820-0501 嘉麻市飯田500-2
TEL 0948-20-8770(代)

吉野 道利 所長

私たちの嘉飯事業所は15年前に開設し、現在では3ヶ所で5つの介護サービスを行っています。下記の3施設ではそれぞれ季節ごとに行う行事やお出かけなど、ご利用者のご希望に沿った介護サービスを実施して、大変よろこばれています。スタッフも元気一杯です。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

- ・ヘルパーステーションいきいき
- ・ケアモールにぎわい荘
- ・にぎわい荘(住まい)

(嘉麻市飯田500-2
TEL 0948-20-8770)

嘉麻市の飯田地区に古くからあった梅福旅館のあとを使用しています。建物は古くても気持ちが落ち着く宅老所として24時間365日のケアを行っています。これからもスタッフ一同、ご利用者の安心安全を第一に心豊かなサービスを提供できるよう頑張ります。



- ・ケアプランいきいき
- ・宅老所にぎわい荘やまだ
- ・ひゃくさいハウス(高齢者グループリビング)

(嘉麻市下山田336
TEL 0948-53-0839)

ここは旧山田市に位置し、のどかな田舎の雰囲気があり、広い日本式庭園付日本家屋が特長です。

季節になると、庭園には四季折々の花が咲き乱れ、利用者の心を癒すような穏やかなひとときが満喫できるアットホームな事業所です。



・デイサービス あいあい

(飯塚市津島253-1
TEL 0948-25-2364)

いつも大きな笑い声で和気あいあいとしています。季節の行事満載、いつも楽しく過ごしています。



福岡県高齢者福祉生活協同組合の県内全事業所を紹介します。

原発事故の“風化”、 隣人との関わりの“風化”

専務理事 稲月 秀雄

本号の記事でも紹介されていましたが、私も高齢協連合会主催の「震災復興支援ツアーワーク（2014年9月28～29日）に参加してきました。

福島第一原発の警戒区域では、田畠・山も荒れっぱなしで、山林の除染も進んでいない様子や、ゴーストタウンと化した駅前メイン通りの住宅地などの様子を目の当たりにして、非常にショックを受けました。元町長さんの、1%の（明るい復興の）事実を大々的にメディアが取り扱って、99%の（復興が進んでいない）現実に関心を持たれることに危機感を感じるという話などから、“風化”させてしまってはいけないと思いを新たにして帰つきました。

話は変わりますが、同じような視点で地域を見てみましょう。私たちは、良くも悪くも”風化”することによって自らの生活をコントロールするところがあります。

そのことは誰も責められませんし、仕方のないことかもしれません。身近な例では、地域で共に活動していた役員の誰かが外出が困難な状況に陥り、自宅に引きこもりがちになると、その存在 자체が地域で“風化”していくという実態があります。2025年に向けて、地域における社会保障制度が大きく変容する過程で、そのような“風化”にどのように対応できるでしょうか。

一見すると別の話題のような話を2つ示しましたが、当事者が望むのは共通して“忘れないでほしい”という思いではないかと、あらためて感じています。



広げよう つなげよう ～高齢期が輝く 地域づくりをわたしたちの手で～

高齢者生協 強化月間

～「2015年度課題」の運動化へむけて～

本部事務局 組織運動 畑山 伸夫

今年度も私たちふくし生協の強化月間が10～12月の期間で始まりました。

そもそも強化月間とは何でしょうか？強化月間とは、「組織・組合員活動の強化」「仲間（組合員）拡大」を改めて意識し、法人方針である「宅老所ケア」を地域と共に作り出していくための取り組みを意識して実践する期間です。

2015年度には、介護保険制度の大改定が予定されています。この改定を「2015年課題」として、それぞれの地域（支部・事業所）で改定に対応した事業所づくりと地域支援事業のあり方などを組合員・地域住民の参加のなかで作り上げることが求められます。

ぜひ、この月間に、ふくし生協の地域に向けた思いや事業、運動を地域へ広く浸透させ、新たな組合員の仲間を迎える活動を積極的に実践ていきましょう！

法律ひとつくちメモ No.8

遺言残して争い残さず

法的ドキュメントパート⑤

前回は相続発生から告別式までの流れをお話しさせていただきましたが、今回はその後の流れをお話しさせていただきます。

分散した銀行口座の全容把握は厄介

●二月十八日(四十九日)

相続放棄ができる期限まで一ヶ月半を切りました。相続とは債務を含めた資産を引き継ぐことですが、一般に借金のほうが多い場合は相続をして、相続財産の総額を確定しなければなりません。

このときに難しいのが、故人(父)の銀行口座の全容を知ることです。

同居している家族がお金の状況を把握しているのならよいのですが、被相続人が一人住まいだった場合、取引口座が全部でどれだけあるかを確定するのに案外手間がかかります。そのほかにも最近はネット銀行ムーブに事は進まないことが多いのです。

預金を分散する傾向にあり、一人で10以上の口座を使っていることも珍しくありません。

他人名義の「名義預金」も厄介であります。かなり多くの方が、贈与のつもりで子供や孫名義の預金口座をつくり、そこへまとまつた額の預金を積んでいたりもします。しかし贈与が成立するには、本人がその口座を日常的に使っているという実態がなければいけません。ですから、名義預金は税務署によつて相続財産と認定されてしまうのですが、それを指摘するとびっくりなさるご家族が多かつたりもします。

知らぬ間に預貯金額が積み上がり、相続財産が相続税の課税ラインを超えていたり、払うべき税額が増えていたりすることも考えられます。

「いまの相続税調査は銀行調査が中心で、名義問題を曖昧にしておくことはできません。それを見越して、事前に贈与の手続きを踏み、銀行口座の整理をしておくことが大切です」

兄弟姉妹の「学歴」が争いのタネに

●五月一日

遺産総額を確定し、故人の所得を申告したら遺産分割の作業に入ります。

遺言書があれば簡単そうですが、

預金を分散する傾向にあり、一人で10以上の口座を使っていることも珍しくありません。

他人名義の「名義預金」も厄介であります。かなり多くの方が、贈与のつもりで子供や孫名義の預金口座をつくり、そこへまとまつた額の預金を積んでいたりもします。しかし贈与が成立するには、本人がその口座を日常的に使っているという実態がなければいけません。ですから、名義預金は税務署によつて相続財産と認定されてしまうのですが、それを指摘するとびっくりなさるご家族が多かつたりもします。

なかなか気持ちがスッキリとはいえないものです。亡き親が公平な分割案を用意していたとしても、兄弟姉妹から思わぬ異論が飛び出しがあります。「近年は親の介護について揉めるケースが多い事は再三お話をできましたが、『学歴』が争いのタネになるケースも多く耳にします。

「兄さんは中学から大学まで私立

だつたのに、弟の自分はずつと公立

で、大学へも行けなかつた」

「弟は『男だから』といつだけでも東京の大学へ行かせてもらえたが、姉の私は地元の短大だつた」など、教育投資の差が、結果として生活の質の差を「遺産によって埋めてくれ」という場合があります。他人からみれば「いまさら」というような主張ですが、当人にとってはこだわりがあるのです。この山を乗り越えない

●十一月一日
相続税の申告と納付
秋が深まるころ、相続税の支払い期限がやってきます。

いまの法律では、配偶者と子ども二人が相続するとしたら、相続財産が8000万円を上回るときに相続税の支払い義務が発生します。課税財産が1000万円以下なら税率は10%であり、税額は最大でも100万円です。

まとまつた額を相続するのだから、そのくらいの支払いはなんでもないと思うかもしれません。納税の原則は「現金・一括」です。相続財産の大半が不動産だと、納税資金の確保に苦労するケースも珍しくありません。

このような場合には保険金で対応するなどの手段もありますので専門家に一度相談するなどして、ご自身の老い支度をより充実したものにしていただければ幸いであります。

立つ鳥跡を濁さずといいますが、人ひとり亡くなつた後の始末は並大抵のことではなく、やはり相続は難事であるなうとつくづく思う今日この頃です。

(南区・行政書士 水野 勇一)



シリーズ

人生の高齢期を考える

老後をめぐるお金の問題(その1)

No. 14

NHKの特集番組「老後破産」を視聴したことに関連して、今後、数回に分けて老後の生活を支えるお金の問題について考えてみます。

「現代ビジネスより抜粋」

人生の最期を悲惨な状態で迎える人がいま急増しています。なぜ、どうのようにして人は破産してしまうのか。厳しい老後破産の現実はあなたも無関係ではありません。

妻の病をきっかけに

「なんでこんなつらい思いをしてまで、長生きしなきゃいけないんで

着古したジャージに身を包んだAさん(七一歳)は、嗄れた声を絞り出し、こうつぶやく。六年前に妻を亡くしてから、神奈川県の自宅でひとり「亡骸」のような日々を送っています。

「家事は妻に任せきりにしていましたから、彼女が亡くなつてからも自分で炊事することはありません。食事は日に一食。夜にスーパーで半額になる弁当を買うか、チエーン店の牛丼を食べに行くのが日課です。近所付き合いもないですし、毎日す

年間勤務し、六〇歳で退職。一人息子は同居している。定年後は、妻と穏やかな老後を送ろうとそう思っていた。当時の貯金は、退職金もあわせて約三二〇〇万円。だが現在、貯金は底をついているとのこと。

「定年してから半年後、妻にがんが見つかったんです。進行した乳がんでした。手術しましたが、すでに全身に転移してしまっていた。現役時代、私は家庭を顧みず、すべて妻に任せて働いていました。これからは樂をさせてあげようと思つていたんです。だからこそ、何をしてでも元気になつてほしかつた。病院を転々とし、最新の放射線治療も受けました。それに漢方や健康食品など、身体にいいと聞いたものは何でも試しています。彼女が自力で歩けなくなつてからは、三〇〇万円出して車椅子を

ることは何もない。家に閉じこもり、テレビを眺めて一日が過ぎていきます。こんな惨めな生活をしているなんて、誰にも言えません。亲戚にだって、無用な心配をかけたくないので、連絡を取らなくなりました。」

「実はウチには、四〇代になる息子がいて、うつ病を患つて会社を辞めてから、家に引きこもつているんです。私の年金だけでは暮らしていけない。少々具合が悪くとも、病院にも行けません。検査なんかしたら、絶対悪い病気が見つかるに決まっていますから。毎日、目が覚めるたびに気が重くなります。何度も死のうと考えましたが、息子がいますし、天国の妻がそれを知つたら悲しむだろうと思って、必死で生きている状態です。」

悠々自適な老後を送れるはずだつたのに、気がつけば、想像だにしない厳しい現実と向き合わざるを得ないAさんのように、破産状態に陥る

漢字クイズ（頭の体操）											
『生活の中の漢字いろいろ』											
①如何様	⑪招聘	②畏怖	⑫所作	③胡乱	⑭重複	④諭旨	⑮汎用	⑤喧噪	⑯捏造	⑥更迭	⑰馴初め
⑦陳謝	⑮汎用	⑧猜疑	⑯捏造	⑨直訴	⑰馴初め	⑩常套	⑱形振り	⑲論旨	⑳補填	⑩常套	⑲論旨
⑩常套	⑲論旨	⑳補填	⑱形振り	⑲論旨	⑳補填	⑩常套	⑰馴初め	⑱形振り	⑲論旨	⑩常套	⑰馴初め

(答えは11ページ)

『老人漂流社会／老後破産』の現実

乗せられるワゴン車を買い、がんに効くと言われる温泉にも連れて行つた。けれど結局、闘病の末に亡くなつたんです。」妻の命のために、カネを惜しむという選択肢はなかつた。がん保険には入つていなかつたため、三〇〇〇万円という貯金額は、六年間でみると、見るうちに目減りしていた。気づいたときには、もう「手遅れ」。現在は月一四万円の年金だけで生活しています。

「少子高齢化が進み、年金の給付水準を引き下げるを得ない一方、医療や介護の負担は重くなっています。自分の年金だけを頼りに暮らしている限り暮らしの高齢者の中にちは、崖っぷちでとどまつていた人たちが、崖から転げ落ちてしまふ、いわば『老後破産』ともいえる深刻な状況が拡がっています」

(記・吉野道利) (次号につづく)

では、「生活保護水準以下の収入しかないにもかかわらず、保護を受けている」破産状態にある高齢者の現状を「老後破産」と呼び、特集を組んで番組を作成した板垣淑子プロデューサーが語ります。

報告 東日本大震災復興支援ツアー 2014に参加して

**連携をはかりながら
支援拡大の必要性を確認**

私は今回の支援ツアーの団長として、計17名の参加者と共に宮城県と福島県の大震災の被災地を訪れ、その実状をこの目で確認することが出来ました。

仙台駅に到着。目の前を行き交う多くの市民とその賑わいぶりに震災が想像できないほどでした。

しかし、石巻市に移動するバスの中から少しづつ津波被害の状況が理解でき、「被災地に来たんだ」という実感が湧いてきました。テ

「ひなたぼっこ石巻」での体験談を拝聴。震災当日の実状やその後の様子を伺い、自分がその場にいたら何が出来ただろうか?と考えました。震災直後の情報不足、支援物資の不足や届かなかつた事、避難した体育館が遺体安置所になつた事など大地震遭遇の実話を恐怖を感じました。日和山の光景、高台から海を展望すると、津波の恐ろしさを目前に見るようで足がすくみました。

今後の復興支援 出来ることから始めたい

福島に入り、原発が近くなるにつれて景色が変化。まず人が居ない、家が無い、広い野っぱらの様な場所。かつては住民が楽しく生活していた場所なのに原発事故という人災まで加わり人が住めなくなつた場所。同じ日本に住んでいたのに、遠く離れた福岡県の私たちは宮城や福島の被災地の現状を余りにも知らなすぎでした。現実の生活や苦難を知りません。

今後の復興支援の在り方を自分に出来る事から始めたいです。

(ひまわり事業所・小浦みどり)

被災地の真実が 見えたことに感謝!

ツアーワンデーの仙台駅前、人の波と林立するビル群、地下鉄の延長工事等で災害復興は進んでいると思いまが、海岸近くになると荒れはてた空間(場所)が多くなりました。

説明を聞かなければ津波被害はわかりませんでした。そして被害を最小限度に食い止めたのはあの点在する松島の島々が防波堤となり守った現実。

自然の偉大な力に驚きました。移動する車窓より見た仮設住宅。

広い田んぼの中にポツリの二列住宅

レビで見た「日和山」の高台から海辺を眺めるとガランとした空間にいくつかの建物が寂しく残っている光景に何か怖いものを感じました。二日目は福島県相馬市へ。

この地は津波と原発事故の二重被害を受けた地域。昨日の宮城とは違った風景で人が居ない。時間が止まつたような原発から5キロ地点。故郷の我が家に戻れない不安と悲しみが住民を苦しめていました。

支援拡大の必要性を確認出来たツアーとなりました。

(けいちく事業所・鬼松一生)

**許すまじ原発
再稼働は絶対反対!!**

二〇一一年三月の大震災から三年七ヶ月も経過しているのに被災地はまだ復興されておらず、家や家族を失い仕事もなく不自由な仮設住宅での避難生活を強いられている多くの住民がおられる実状を知りました。

また今だに福島原発事故の原因や被害も明らかにされず、被災した人達の苦しみに何の対策も示さない東京電力と国の無責任な態度に怒りを覚え、決して許してはならないと今回ツアーワンデーで強く思いました。

(八幡東支部・毛利和江)

に、初めは何の小屋?生活されているはずの気配が全く感じられません。これらの仮設住宅は、人目につかない場所、道路から見えにくい所にあるように感じました。これから寒さも日一日と厳しくなるでしょう。大震災から三年をとうに過ぎた今、原発事故被害がこれだけ長引き、終わりの見えない生活で「原発さえなければ…」の声に身心の凍る思いがしました。

不安で苦しんでいる大勢の人々とその現状。実際に現地を訪れて、自分の目で確かめて真実がみえたことに感謝のツアーワンデーでした。

(西南事業所・小田昌子)

地震や津波被害の復興は徐々に進んでいるようですが、原発被害はあと何年かかるのか、百年で終わるのか明確な答えはありません。今も放射能で汚染され続けていると聞きました。私達の国は、広島と長崎で二度の原爆にあいました。そしてまた今回福島で原発事故を起こして、罪なき人々を苦しめています。小高町の元町長だった江井氏は「老後は孫達と楽しく暮らす予定だったのに自宅にも住めずくやしい」と語られました。そうです許すまじ原発!再稼働に絶対反対します。

つぶやいたー 秋の夜長、ぬるい温泉にゆっくりひかって、のんびり、ほんやり過ごしたい

報告

「第5回ふくし生協フェスタ2014」盛大に開催
10月5日(日) サンレイクかすや会場に500人!



宮田理事長

して宮田理事長が登壇。「本日の集まりに感謝！また地元の粕屋町『因清節町長』のご臨席をいただき誠に光栄であり心から感謝申し上げたい。私たち協同組合は「一人はみんなの為に、みんなは一人の為に」をモットーにして、一人ひとりの尊厳を大切にしており世界的

第一部（午前の部）

この日は朝から曇天
おりからの台風18号接近
で天候悪化が心配されま
したが、運よく天が味方
し、15時過ぎの閉会まで
事なきを得ました。

十月五日(日)福岡県糟屋郡柏原町の施設「サンレイクかすや」を会場にして「第五回ふくし生協フエスター〇一四」が盛大に開催されました。県内各地の事業所及び地元から五百人が参加、大いに楽しみました。



因清範氏
(柏屋町町長)

して下さい。」と挨拶。次に、地元粕屋町を代表して来賓の因清範町長が祝辭「当町の人口は四万五千人、高齢化率は16・1%と低いが、確実に高齢者が増加している。当町は高齢者の介護予防や健康作り、ライフスタイルの向上に努めている。健康寿命のサポートが出来るのは行政とふくし生協であり、今後、いろんな企画を政策面で実施していくたい。本日は当町施設を利用いただきて嬉しい。今日一日を存分に楽しんで下さい。」と激励されました。



▲隅川・星川コンビの名司会

した。続いて午前の部終了を前に「福祉川柳コンテスト」の表彰に移り、百十六句寄せられた中から九句の入選作品が、選者の古野つとむ先生より選考結果と講評と共に発表されました。

それは地響きとなつてホール全体を揺るがし、見る人を圧倒しました。見事な演奏でした。続いて組合員女性によるあでやかなフラダンスと日本舞踊。その衣装と優雅な舞に見惚れました。続いてミスタークリン氏による大道芸マジックショウ。次々披露されるそのテクニックに唖然、驚きのひとときでした。ここで一息、ぬくもり支部による「ぬくもり本業」で心身をほぐしました。

10時20分、オープニング演目として「久山櫻（けやき）太鼓」が登場。小学生10人と大人の計18人による和太鼓の競演。和太鼓特有のバチさばきによる乱れ打ちで、太鼓の迫力から大音量でござる。





◀▲久山櫻(けやき)太鼓
の大迫力



たおやかな日本舞踊 ▲ ▼



あでやかなフラダンス ▶



次に杉谷氏による「笑顔写真コンテスト」結果発表です。「皆さんの素敵
な笑顔に甲乙はつけられません!!」と
いう粋な計らいで85点応募の全作品が
「入選」となりました。本当に光り輝
く美しい笑顔ばかりでした。

これで第一部(午前の部)は終了し
昼食・休憩に入りました。昼食はボ
リューム満点の給食センター弁当を美
味しく頂きました。

第一部（午後の部）

13時から午後の部（第二部）がスタート。トップは地元の宇美東中学校吹奏楽部による演奏です。中学生26人による演奏は整然として清々しく、心洗われる素晴らしい内容でした。数々のヒットナンバーなどを披露し、アン

コレの大きな拍手が印象的でした。情緒教育の大きな成果を見る思いで、学生さん達の今後の健やかな成長と発展を願い、心秘かにエールを送ったのは私だけではないと思いました。

次に、去る九月末に当生協から派遣された「東日本大震災復興支援ツアーレ」に参加された17人の中の4人が壇上に並び、実際に自分の目で確かめてきた現地の生々しい実状を報告されました。

現地の切実な声として「マスコミの報道はごく一部であり、実状が風化して忘れ去られることが一番辛い。どうかいつまでも忘れないでいて欲しい・・・」の声に胸が痛みました。

（②・⑤ページに関連記事掲載）



二〇一四年 福祉川柳コンテスト入選作品（9句）

十月五日発表 川柳くろがね吟社同人 古野 つとむ 選

最優秀賞

介護はね 育ててくれた 恩返し

優秀賞

嬉しいな デイに行く日は 胸躍る
物言えぬ こころ感じて 介護する

デイの午後 歌と踊りで 大騒ぎ

入選

暖かい デイサービスの 思いやり

おはようと 今朝も元気で スタッフさん
美しい 人のこころは 身にしみて

ベッドまで 写メが春風 つれて来る
しのざきに きてみなさいな 皆笑顔

丸山 玉枝（ミナミ事業所）	福本 トシ子（北九州統括事業部夢ひろば）
小森 スミ（ぬくもり事業所）	山口 美雪（ミナミ事業所）
戸畠 ヨシエ（北九州統括事業部訪問介護）	林 貞樹（ぬくもり事業所）
瀬口 美代子（北九州統括事業部小倉北）	

プロによるジャズコンサート



次はお待ちかね ジャズピアニスト 河野康弘氏によるライブコンサート。氏のおだやか な語り口調とはうららに、両手10本の指先は鍵盤上

を左から右、右から左へと自由自在に走り、そこから紡ぎ出された音色は連射音にも似て、弾く人のエネルギーと個性を感じさせ、プロの実力が發揮されたライブを満喫しました。

この後、参加者が大いに期待したのが、豪華景品が当たるフェスタ恒例のお楽しみ抽選会。実行委員と先ほどの河野先生も加わっての抽選です。全員が固唾を呑んで見守る中、当選番号が次々と発表されるたびに、会場のあちこちから歓声と溜息が交錯して、多くの参加者の明暗を分けました。

（取材／写真・西田、文・長谷）



15時20分、閉会の言葉と共に、楽しかった第五回目のフェスタが終了しました。実行委員会、本部事務局と地元ぬくもり事業所及び町内から参加された皆様、そして会場を提供された柏屋町役場様、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

支部・事業所だより

所長は語る!! 冬は必ず春となる

皆さんこんにちは、私は福岡東事業所の所長をしております。長島と言います。

私を知らない方が多いかと思いますので自己紹介をさせていただきます。

平成23年5月、当ふくし生協に何らかの縁（赤い糸）により東事業所に入職いたしました。今、考えたしました。

以前は精神科医療での仕事をしていました。精神科と言ってもなかなか理解しにくい部分があるかとおもいます。その中でも私が行っていたことは、現在ではニーズの高いアルコール依存症・ストレスケア・家族のケアーのセラピストとしての仕事でした。

私は今までの人生のなかで、現状の社会においてもつと生かされる方法はないかと考える中、介護の現場でも同様に、家族は精神的に病んでいることに気づきました。介護の中でのストレスを少しでも軽減してい

ただくことが出来れば今までの歴史も無ではないと確信しております。もちろんスタッフも同様のことを感じられます。私もそうであつたように、仕事を抱え込んでしまっており、仕事で周りに人がいることに気づかないようになってしまいます。実際に数件の家族のカウンセリングを行うことにより、楽になります。したとの声も聞かれます。スタッフも同じことが言えます。私は私で何が最大限にできるか、そして常に思うことは、自分にできる事、自分にできないことを明確に受け止める勇気だと思います。

最後に皆さんは自分自身に感謝しますか？自分に感謝できない人は他人にも感謝はできないと思います。まずは自分を好きになつてみてください。そのことで人生が変わります。

アッ！肝心な事を伝えないとけません。皆さんはもうご存知のように2015年は介護事業も介護保険の改定で大変です。その為には、職員、組合員ならびに地域の皆さん協力が今まで以上に必要とされます。当ふくし生協の全ての力を結集する時が来ました。何が何でも勝ち取るぞの思いで頑張りましょう。私の好きな言葉で「冬は必ず春となる」の言葉を信じてやり抜いていきます。

（記・東事業所所長・長島幹夫）



9月26日（金）17時から、ひまわり事業所の障がい者宿泊施設（コードのおうち）建設に伴う上棟式がありました。

ひまわりの障害者宿泊施設の上棟式 地元80人が祝う

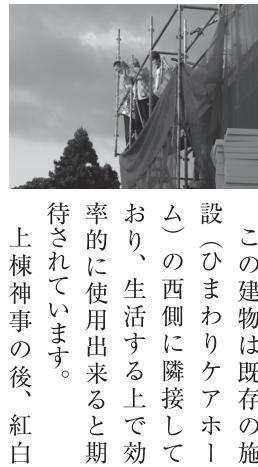
（取材・長谷）

9月26日（金）17時から、ひまわり事業所の障がい者宿泊施設（コードのおうち）建設に伴う上棟式がありました。日本では古来家を建てる時、柱や梁などの骨組みが出来上がり屋根の形を整えると建物の外観（全体の形）が明確になり、そのことを周囲が祝う習慣があり、建て前・棟上げとも言われます。

この日、本部から毛利・長谷両副理事長も駆けつけて共に祝いました。



（取材・長谷）



この建物は既存の施設（ひまわりケアホーム）の西側に隣接しており、生活する上で効率的に使用出来ると期待されています。



当ふくし生協の元理事長「石田静男（いしだしづお）」氏は、去る9月12日ご自宅にて脳出血のため逝去されました。生協運動一筋60年“八十一年のご生涯でした。

（元）

9月15日、この日は奇しくも敬老の日。福岡市中央区の「草苑」で氏の告別式が営まれ、三百余名の方々に見送られて天国へ凱旋されました。

立派なご生涯でした。

（取材・長谷）



福岡市中央区の「草苑」で氏の告別式が営まれ、三百余名の方々に見送られて天国へ凱旋されました。

立派なご生涯でした。

（取材・長谷）

氏は鹿児島大学を卒業後、志願して同大学生協・九州生協連合会・鹿児島と福岡での地域生協に関わり、定年後は非常勤の立場で九州の地域生協事業連合、当ふくし生協、福祉NPOと関係して常勤で42年、非常勤まで加えれば実に60年に及ぶ生活協同組合の職歴。

正に人生の大半を生協運動に情熱を注がれてその発展に尽力、その功績は誠に大なるものがありました。

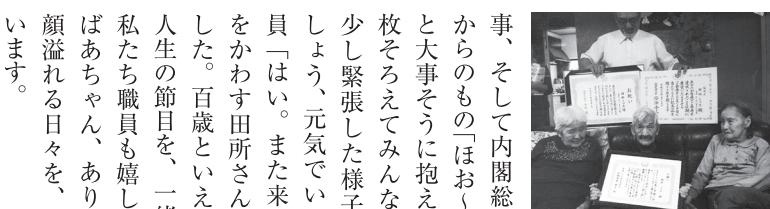
さよなら原発! 鹿児島の天文館集会に参加しました

9月28日、この日は30度を超す暑い一日でした。鹿児島市の天文館公園で「鹿児島アピール」を採択した後、それぞれのプラカードやのぼりを立てて、多くの団体が参加行進しました。

原発の廃棄物は10万年も時間をかけないと自然に戻らないのです。処理出来ない廃棄物をどうしようといふのでしょうか。この一点だけでも空恐ろしいことなのに、私たちの子供たちの未来はさらに危険に満ちているのです。

田所さん百歳おめでとう。 (けいちく事業所)

当宅老所ほのぼののご利用者様、田所ミツエさんが百歳を迎えるました。日頃、スタッフの間では「田所おばあちゃん」と親しみを込めて呼ばれ、「はいはい」といつも元気に返事をし、「あんた、頑張んなさいよ。世間に負けたらいかんよ!」と、時折とても真剣な顔でスタッフに苦言を呈し、ハッパをかけます。そんな田所さんが百歳を迎えたのは、暑さも一層厳しさを増した、今夏8月18日のことです。お誕生日の2日前には宅老所ほのぼの全体にて、田所さんの「百歳を祝う誕生日会」が開かれました。そして9月12日、「こんちは」と行橋市役所より職員さんが2名、田所さんを訪ねて来られました。「田所さん、百歳、おめでとうございます」そう言って手渡されたのは、小さな木箱。中には銀の杯が。



「ほお〜。これ私の?」と嬉しそうに手に取る田所さん。「まだありますよ」次に手渡されたのは大きな額入りの表彰状が三枚。行橋市長、福岡県知事、そして内閣総理大臣の安倍晋三さんからのもの「ほお〜。こんな立派なもの」と大事そうに抱える田所さん。最後は三枚そろえてみんなでパチリ。(写真参照)

少しおもいなさいよ。世間に負けたらいかんよ!」と、時折とても真剣な顔でスタッフに苦言を呈し、ハッパをかけます。そ

んな田所さんが百歳を迎えたのは、

暑さも一層厳しさを増した、今夏8月18

日のことです。お誕生日の2日前には宅

老所ほのぼの全体にて、田所さんの「百

歳を祝う誕生日会」が開かれました。そ

して9月12日、「こんちは」と行橋市

役所より職員さんが2名、田所さんを訪

ねて来られました。「田所さん、百歳、お

めでとうございます」そう言って手渡さ

れたのは、小さな木箱。中には銀の杯が。

（記・塚本絵美）



第20回記念のミナミ グラウンドゴルフ大会開催

10月16日(木)晴。南区皿山中央公園を会場に、ミナミ事業所恒例のグラウンドゴルフ大会を開催しました。

この日は台風一過の素晴らしいスポーツ日和。地元の高齢者8チーム約70名が参加、熱戦が展開されました。

この大会はミナミ事業所が企画し、

チームキヤブテンらによる実行委員会が

実施しているもの

で、年二回春五月と秋十月に開催して来ました。

（取材・長谷）

ほのぼの村新施設上棟式と 第七回ほのぼの祭りに三百人 (けいちく事業所)

10月12日は行楽の三連休なか日、朝から曇天。今にも泣き出しそうな空を見上げながら、けいちく事業所恒例の「第七回ほのぼの祭り」が実施されました。

午前10時30分、かねてよりの新施設建設に伴う「上棟神事」を執り行い、完成までの無災を祈願しました。

次にアトラクションとして地元「飛龍

八幡太鼓」が登場、力強いバチさばきで

迫り来る台風19号の余波で今にも崩

れそうな気配の中でしたが、昼過ぎま

で降雨なしで続行できました。

最後は皆様お待ちかね「大餅まき

です。用意された餅の多いこと、大歓

声の中での餅まきは大好評の内に終了。

楽しい一日でした。

（取材・長谷）



ドンドコドン。その

音色に引かれて近所

の方々が次々と参

集、会場はみるみる

一杯です。次に南原

神楽が面白おかしく

演舞、皆の笑いを誘

いました。

続いてハーモニカ演奏で秋の唱歌を全

員で楽しみました。

迫り来る台風19号の余波で今にも崩

れそうな気配の中でしたが、昼過ぎま

で降雨なしで続行できました。

最後は皆様お待ちかね「大餅まき

です。用意された餅の多いこと、大歓

声の中での餅まきは大好評の内に終了。

楽しい一日でした。

（取材・長谷）

全体プログラム

日 時 2014年 11年 22日(土)
12:30~18:00 (開場 11:30)

会 場 福岡国際会議場

記念講演



歴史的危機の時代に、共に生きる、
共に働く社会を創る

聖学院大学学長・東京大学名誉教授
カン サンジュン
姜 尚中 氏

パネルディスカッション



山下 惣一氏
農民作家



宇根 豊 氏
農と自然の研究所



仕事ができる子どもたち
ワーカースコープ・センター事業団
国分地域福祉事業所ほのはの



永戸 祐三氏
日本労働者協同組合
連合会

特別企画 『生笑一座』 (認定NPO法人 抱樸)



東北からの報告

東北被災地の自治体
石巻市 亀山市長
ワーカースコープ
東北復興本部から



分科会プログラム

日 時 2014年 11年 23日(日)
会 場 アクロス福岡、西鉄イン福岡
エルガーラホール

内 容 [01]~[21]: 当生協に関係のある分科会は[01]と[10]の会場

- [01]: 高齢者が地域で活躍するコミュニティケアの創造へ <アクロス福岡>
- [10]: 障がいのある人々が共に創り出す共生社会 <西鉄イン福岡>

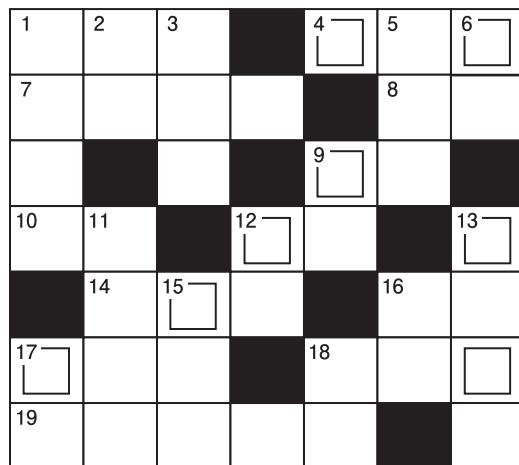
参加費 二日参加：3,000円 (学生、障害者は一律 1,500円)
一日参加：2,000円

※但しふくし生協組合員は無料(当生協負担)

いま、『協同』が創る2014全国集会 in 九州・沖縄
協同の力で働く喜びを！

（集まらんですか、語らんですか。平和尊び、生命輝く未来へ）

クロスワードパズル



<ヒント>今やお茶の間の人気者、女性?!

- 18 「ヒント>今やお茶の間の人気者、女性?!
- 17 鍋のシーズン、もつ鍋、水炊き、○○焼。
- 16 ご存じ「男はつらいよ」フーテンの○○さん
- 15 「○○○のかいがあつて・・・」
- 14 元NHKの大河ドラマ「功名が○○」。
- 13 寒い日の必需品、セーター、手袋、○○○○。
- 12 太宰府の遺跡「○○楼」
- 11 いたるところ、あちこちの意。
- 10 英訳はマップ。グーグルでも検索できます。
- 9 ドイツ語で美味しい食べ物を表す「デリカテッセン」の略。
- 8 「○○風びゅーぴゅー吹いている」
- 7 北米から逆輸入の車の人気ブランド
- 6 「拙い」と書いて「○○ない文章ですいません」とか言います。
- 5 「物見○○○」。
なつかしい唱歌「○○○だ○○○だ
おちばたき」。
- 4 今でも冬の風物詩みんなで足をいで、
みかん食べてますか?
- 3 長崎県の五島列島最北端「○○島」
あちこちと見物して回ること。
- 2 「物見○○○」。
長崎県の五島列島最北端「○○島」
あちこちと見物して回ること。
- 1 かつて、米俳優のハンフリー・
ボガードなんかカッコよく○○○○○
コート着てました。

(全国○○○○○集会)

20

- ▼タテ、ヨコの『カギ』に従つてマス目に言葉を入れてください。すべてのマスを埋め終わったら、「二重マスの中の文字を並べ替えて、〈ヒント〉にふさわしい言葉を作つてください。それが答えです。

▼「人生の高齢期を考えるNo.13」はいろいろ勉強になりました。運動する、食生活を改善する、頭を使う、健康診断を定期的に受けるなどが健康を保つことになるのです。

(福岡市西区・定松 フサ子)

▼シリーズ「人生の高齢期を考える」で指摘されている介護をめぐるお金の問

題は、正にこれから的问题であり、しっかりと身につけるように読んでいます。

安倍政権によつて減額する年金額、物価高を起す経済政策等「年寄りは早くこの世から去れ」と叱咤されているようでは怒り心頭です。社会保障制度を解体して安上がりな医療・介護を狙う「医療・介護総合法」なんてまつらゴメン!この法律によって事態はさらに深刻になり、孤独死の増加や医療介護費用も悪化。

人の命を守る一大運動が必要です。

(豊後高田市・尾鶴 真)

(水巻町・江上 淑子)

読者の声

題は、正にこれから的问题であり、しっかりと身につけるように読んでいます。

が「ビートルズ」何とも懐かしい響き!!

当時、急にギターに目覚めて年齢を20歳もごまかして夜、往復二時間バスに揺られてギター教室へ。一回だけ若者

に混じつてステージを経験。家でも私のピアノと息子達のギターでの「イエス・タデー」の演奏も・・・。今回のクイズのお陰で楽しかった青春?の思い出にひたることができました。

今もその余韻が・・・。

◆前回の答は「ビートルズ」でした。次の5人の方々にQJOJOカードを送ります。

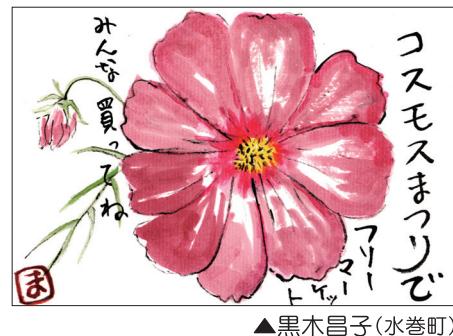
①いかさま	⑪しおへい
②いふ	⑫しょさ
③うろん	⑬そんたく
④ゆし	⑭ちよつ(じゅつ)ふく
⑤けんそう	⑮はんよう
⑥じうじつ	⑯ねつぞう
⑦ちんしゃ	⑰なれそめ
⑧さうぎ	⑯なりふり
⑨じきせ	⑯ろんし
⑩じょうじつ	⑳ほてん

漢字クイズの答(読み方)

完成した言葉と「ひやくさい」の感想などをはがきに書いて、「ふくし生協・広報委員会クロスワードパズル係」まで12月5日必着。正解者の中から抽選で5人にQUO(クオ)カードを送ります。

※出題者 (西田 治・本部職員)

▼井手幸子(水巻町)



▲黒木昌子(水巻町)

ご投稿ありがとうございます。
今回は、絵手紙・貼絵・川柳です。

みんなの 文芸 広場

つぶやいたー 水兵リーベ ぼくの船



▲ミナミ事業所デイサービスの作品(貼絵)

▼岩見静子(水巻町)



▲三笠郁枝(水巻町)

〔北九州統括事業部小倉北〕

瀬口 美代子(せぐち みよこ)

しおざきに 心やすめ

しのざきで 気持ちが若く
なりました

来て います

小原 麻(こはら あさ)

百均で これいくらかと
聞きまくる

お出かけし 見渡す限り 同い歳

しのざきの 口癖同じ
リハビリよ

内田 君代(うちだ きみよ)

盆踊り 太鼓がなれば 踊り出す

東 孝子(ひがし たかこ)

デイ樂し 帰る時には われ先に
中村 僕(なかむら おさむ)昼ごはん 山盛り食べて
もうおやつしのざきの 神社近し 足向かぬ
登ごはん 山盛り食べて
もうおやつ

石橋 幸雄(いしばし ゆきお)

ありがたや ひるめし付きに
昼夜まで

「フェスター〇一四」への 福祉川柳応募作品

募金に感謝
去る10月5日開催の
フェスター会場で今夏
広島県大雨災害の義援金六六九一円を募
金いただきました。10月24日、日本赤十
字社へ振り込みました。(ぬくもり事業所)

おことわり

毎回好評の「リレーエツセイ」と「街
かど探訪」記事は紙面の都合により
お休みします。
(広報委員会)

▼二十二・二十三日には「全国協
同集会」が福岡で開催されます。
全国の協同組合や団体の仲間と協
同の輪を広げ、活動経験を学び合
うよい場だと思います。「学びの
秋、知を力に、地域の人を誘つて
協同集会へ行こう!」。

(委員 国光)

▼「フェスター〇一四」が支部運

營委員会、事業所の力を寄せ合い
無事終わりました。今回は生協外
からも多くの方々が参加されまし
た。この新たなつながりが何より
の宝だと思えます。▼「百聞は一見に如かず」と言う
言葉があります。東北大震災復興
支援ツアーパートナーの感想文を読む
とまさにそう思います。「マスコ
ミは事実を伝えていない」という
言葉もありました。自ら事実を知
る努力をすることの大切さを感じ
ます。

編集後記